

大阪医科大学学報

第50号 平成13年11月
(インターネット版)



本部北キャンパス臨時駐車場
(13頁に関連記事)

目

学報50号刊行にあたって	2
創刊以来の変遷	3
規程関係	4
寄附金	7
助成金・科研費関係	8
平成14年度入試要項	9
アムール医科アカデミー副学長来学	13
医学会秋季学術講演会	13

次

本部北キャンパス臨時駐車・駐輪場開設	13
1日検疫官体験記	14
学内行事	15
会議・行事予定	18
附属病院関係	20
俳句	22

学報第50号発行にあたって

学長 島田 眞久

上記の演題について、原稿依頼がありましたのであらためて学報1号を見させてもらいました。1号は、平成元年7月15日に発行されており、丁度、松本秀雄先生が「学長就任あいさつ」として表紙をかざっておられ、あとは、規程、人事、収支予算・決算を含む法人としての記事が事務的に記載されており、最後のページには、建築中の総合研究棟の写真が載っております。個人的には、私が平成元年1月1日に香川医大より本学の第2解剖学講座の教授に就任した年でありますので、その夏に「学報」が発行されていたことになり、学報の歴史がそのまま私の本学での歴史ということにもなり奇縁を感じた次第です。以後50号まで、13年の歳月が流れたことになり、この間、学報の内容も少しずつ改良され、学内行事、教室の紹介や、医学の散歩道、新任教授紹介、海外出張記、俳句などが付け加えられ読んでいても楽しい現在の姿になり、さらにこれからも進化していくでしょう。基本的には、学報の役割は大学の公式記録として教職員に幅広く広報することにあります。それだけではなんとも味気なくなるわけで、今後ぜひいろいろなできごとを出来るだけ多くの人に書いてもらい大学のことを知ってもらおう学報になってもらうことが涵養かと存じます。

今年、法人はたかつきYMCAの購入、JR職員宿舎の跡地の購入に加え、新総合棟（病院7号館）に21世紀の医療の夢を託しその建設を決定しました。また、春には、教育と医療の狭間にいる学習障害者（Learning Disability）の児童・生徒を早期から訓練・指導する「LDセンター」を、さらには医薬品・医療器具の開発をめざす「臨床治験センター」をそれぞれ本学に設立しましたし、大学のシーズをより広く社会に公開・提供していくため今年設立されました「大阪TLO」にも加盟しました。今後これらの諸施設をいかに有効に利用して本学のさらなる発展に結び付けていくかが鍵となりますが、その際に必要なことは、本学で働く一人一人の職員が大学についての情報を共有することであり、そのための「学報」のはたす役割が非常に重要になってきますし、電子媒体化も早晚必要になるかと思えます。また、法人の公式ホームページへの学報のリンクも実施され、今後は、動画や肉声、校歌・寮歌を含む音楽なども加わったより楽しい、大阪医科大学の社会への情報公開の場としての学報に発展していくことが一層期待されます。

創刊以来の変遷



第1号(平成元年7月号)
創刊



第4号(平成2年5月号)
初めて表紙がカラー印刷になる。



第15号(平成5年2月号)
以後表紙をカラー印刷にする。



第17号(平成5年7月号)
立体駐車場が竣工する。



第18号(平成5年11月号)
海外出張記・学内行事などのコーナーを新設し誌面の充実を図る。配布対象を拡大し卒業生・学生保護者への発送を開始する。



第21号(平成6年7月号)
本館・図書館が竣工する。



第28号(平成8年5月号)
A4サイズの普及に伴い、誌面のA4サイズ化を図る。(発送事務の合理化のため第32号から再びB5サイズに戻す。)



第34号(平成9年11月号)
創立70周年を迎える。



第48号(平成13年5月号)
インターネット版の発行を開始する。

平成元年7月に第1号が創刊されて、平成の時代と共に13年が経過し、本年11月をもって記念すべき第50号を発行することができました。

「学報」の編集につきましては創刊当初から、池田一彦氏(神戸新聞社社友)の指導により徐々に内容が整備され、現在のスタイルが確立されてまいりました。

平成2年5月(第4号)には総合研究棟竣工にあわせ、初のカラー版表紙を取り入れました。平成5年2月(第15号)からは、表紙のカラー印刷を定着化し、平成5年11月(第18号)からは、それまでの学事、人事等の報告事項を主体とした内容に、新たに教室紹介や海外出張記などのコーナーを新設し、より親しみやすい内容にいたしました。大学内の建物、季節の風景や行事の様子を交えた構成は、OBの先生方、学生の保護者の方々からも好評で、平成6年5月(第20号)から連載している俳句コーナーでは読者からの投句も募集しています。

現在、印刷部数は8000部で、教職員(非常勤講師含む)役員、名誉・功労教授、学生、保護者、仁泉会々員などに配付されています。また、平成13年5月(第48号)からは本学のホームページを通じてインターネット上でも学報をご覧頂けるようになりました(平成13年11月1日サービス開始)。情報開示の重要性が問われている中、大学のさまざまな情報を適時提供する「学報」の役割はますます大きくなってきています。

これからも、読者の方々のご意見を伺いながら、わかりやすく読みやすい「学報」を目指し努力してまいります。どうか、今後のご協力とご支援をお願い申し上げます。

平成13年11月

編集スタッフ一同

規程関係

規程制定

大阪医科大学公開講座運営委員会規程の制定について
大阪医科大学公開講座運営委員会規程が次のとおり制定されました。

大阪医科大学公開講座運営委員会規程

(目的)

第1条 広く社会に開かれた大学を目指し、地域社会の知的向上と医学知識等の普及を図ることを目的に、市民を対象とした公開講座を運営するための委員会を設置する。

(委員会の役割)

第2条 運営委員会は、年間の公開講座開催計画を作成し、行政機関との折衝及び開催のための準備並びに運営を行う。

(委員会の組織)

第3条 運営委員は教職員の中から、教員5名及び職員若干名を委員として、教授会の議を経て学長が委嘱する。
2. 委員長は、委員の互選により選出する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、任期の途中で欠員が生じた場合は補充することができる。補充する委員の任期は前任者の残任期間とする。

(その他)

第5条 公開講座は、運営委員会が本学内等で主催する定期的開催公開講座と、主催する組織が別にあるその他の公開講座に区分する。
2. 定期的公開講座受講は無料とするが、その他の公開講座はこの限りでない。

(事務組織)

第6条 運営委員会の事務は、学生部学務課が行う。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は運営委員会及び教授会の議を経て、理事長の承認を必要とする。

附則 この規程は、平成13年4月1日から施行する。

大阪医科大学遺伝カウンセリング室規程の制定について
大阪医科大学遺伝カウンセリング室規程が次のとおり制定されました。

大阪医科大学遺伝カウンセリング室規程

(設 置)

第1条 大阪医科大学（以下「本学」という。）は、病院内の診療にかかわる遺伝カウンセリング業務を行うため、附属病院内に遺伝カウンセリング室を設置する。

(目 的)

第2条 ヒトゲノム・遺伝子解析研究における遺伝カウンセリングは、対話を通じて、提供者及びその家族又は血縁者（以下、「提供者等」という。）に正確な遺伝医学の情報を提供し、疑問に適切に答え、提供者等の遺伝性疾患に関する理解を深め、ヒトゲノム・遺伝子解析研究や遺伝性疾患等をめぐる不安又は悩みにこたえることによって、提供者等が今後の生活を自らの意思で選択し、行動できるように支援又は援助することを目的とする。

(業 務)

第3条 遺伝カウンセリング室は、遺伝医学に関する十分な知識を有し、遺伝カウンセリングに習熟した医師、医療従事者等が協力して次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 遺伝カウンセリング室は、倫理委員会内に設置されたヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査専門部会と緊密に連携をとりながら遺伝カウンセリングの業務を行う。
- (2) 遺伝カウンセリング室は、研究責任者が単一遺伝子疾患等に関する遺伝情報を開示しようとする場合には、必要に応じ提供者等に遺伝カウンセリングの機会を提供する。
- (3) 遺伝カウンセリング室は、研究計画書作成の際の研究責任者からの相談等に積極的支援を行う。
- (4) その他、この規程の目的を達成するために必要な業務を行う。

(構 成)

第4条 遺伝カウンセリング室には次の各号に定める室員を置く。

- (1) 室長 1名 本学の臨床教授の中から倫理委員会と協議のうえ病院長が推薦し、教授会の承認を得て理事長が委嘱する。任期を2年とし再任を妨げない。
- (2) 副室長 1名 第3条の業務を遂行できる者の中から必要に応じて室長が推薦し、教授会の承認を得て理事長が委嘱する。任期を2年とし再任を妨げない。
- (3) 遺伝カウンセラー 若干名 第3条の業務を遂行できる者を必要に応じて室長が選任し、教授会の承認を得て理事長が委嘱する。

(守秘義務)

第5条 室員は、職務上知りえた情報を漏洩してはならない。職を辞したのちも同じである。

(研究責任者の責務)

第6条 研究責任者による遺伝情報の開示は、対象者への医学的又は精神的な影響等を十分考慮し、診

規程関係

療を担当する医師との緊密な連携の下になさなければならない。

2. 研究責任者が研究計画書を作成する際にはヒトゲノム・遺伝子解析研究の特殊性を十分配慮して、インフォームド・コンセント、個人情報の保護、研究により予測される結果及びその開示の方法、試料等の保存及び使用方法のみならず、遺伝カウンセリングの考え方を明確にしなければならない。

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、倫理委員会及び教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則 この規程は平成13年9月5日から施行する。

お詫びと訂正

前回発行の49号の規程改正のコーナーにおいて一部掲載漏れがありましたので、お詫びし訂正致します。

P.14 学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程の一部改正について

- 第5条** 病院事務部 病院サービス課 において、第九号から第十一号を削り、第十二号以降各号を繰り上げる。

本学附属病院新総合棟建築事業に係る寄附金の応募状況について

項目 区分	寄附金	
	件数	総額(円)
本法人役員・評議員	7	3,922,460
教職員	21	1,745,000
仁泉会会員	104	24,710,000
白友会会員	54	2,698,000
学生保護者	5	1,000,000
法人等(個人、一般含む)その他	72	64,567,840
計	263	98,643,300

平成13年9月30日現在

寄附金申込者

平成13年7月1日から9月30日までの間に寄附金申込者は、7件、金額1,670,000円です。

ここに寄附金申込をいただきました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

(順不同・敬称略)

教職員 4件、金額420,000円

磯田 洋三、大槻 哲彦、吉野 富美子、門田 雅人

仁泉会会員 1件、金額1,000,000円

小野村 敏信

学生保護者 1件、金額100,000円

安田 紘晃

法人等(個人、一般含む)その他 1件、金額150,000円

寄附者

代表者

有限会社すばる印刷

代表取締役

野村 昌男

寄附金募集期間 平成13年12月末日まで

税法上の優遇措置が受けられます。

募集対象 本法人役員・評議員、教職員、仁泉会会員、白友会会員、学生保護者、一般個人及び法人

寄附金額 個人1口10万円、法人1口50万円 但し、1口未満の金額でもお受けいたします。

問い合わせ先 大阪医科大学事業推進室 TEL0726-84-6344

寄附金募集についてお願い

前回の学報(第49号)で掲載しましたとおり、附属病院新病棟(7号館)の建築が平成14年4月から着工するはこびとなりました。これに係る募金につきましては、既に本法人の役員・評議員、教職員、仁泉会会員、白友会会員、学生保護者、関係企業等にご支援をお願いし、ご協力をいただいておりますが、残念ながら目標額に達しておりませんので、さらなるご支援を皆様方をお願い申し上げます。

つきまして、皆様方におかれましても諸費多端の折、誠に恐縮に存じますが、何卒ご事情ご賢察下さいまして、寄附のご支援を賜りたく全学あげてお願い申し上げます。

助成金・科研費関係

助成金の内定について

調査・研究助成 [(財)日米医学医療交流財団]

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
前腕回旋運動のバイオメカニクスに関する研究	整 形 外 科 学 教 室 学 内 講 師 ・ 白 井 久 也	30万円

平成13年度 第7回医学研究助成 [(財)大阪難病研究財団]

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
多発性硬化症におけるケモカインによるTh1/Th2反応を介した免疫制御機序の解明	附 属 病 院 助 手 ・ 中 嶋 秀 人	200万円
消化管運動機能異常と動脈硬化の程度に関する研究	第 2 内 科 学 教 室 講 師 ・ 島 本 史 夫	200万円
- アミノ酸 (GABA) のヒト大腸癌の分化・発育に及ぼす影響	第 2 解 剖 学 教 室 講 師 ・ 前 村 憲 太 朗	200万円

第13回(2001年度)加藤記念国際交流助成(後期)[(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団]

発 表 題 目	発 表 学 会	開 催 期 間 ・ 場 所	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	助 成 金 額
Proteins associated to the stationary phase ribosomes in E. coli	The Dynamics of Ribosome Structure and Function	2002年1月27日～ 2月1日 ニュージーランド・クイーンズタウン	物 理 学 教 室 学 内 講 師 吉 田 秀 司	20万円

科学研究費補助金の内定について

平成13年度 特定領域研究(B)

研 究 課 題	所 属 ・ 職 ・ 氏 名	内 定 金 額
ピリドキサル酵素のプロトン移動過程の解明に基づくコンポジット触媒の開発	医 化 学 教 室 助 教 授 ・ 林 秀 行	660万円

平成14年度入学試験要項（概要）

平成14年度入学試験要項（概要）

平成14年度大学医学部・大学院医学研究科・看護専門学校、それぞれの入学試験要項が決定いたしましたのでその概要をお知らせします。

）医学部・医学科

1) 入学願書受付期間

平成14年1月4日（金）～2月1日（金）必着のこと

2) 学科試験日および試験科目

月 日（曜）	時 間	教 科	科 目（出 題 範 囲）
2月13日（水）	9：30～11：10 （100分）	数 学	数 ・ 数 ・ 数 ・ 数A ・ 数B ・ 数C 数Aの科目中、平面幾何・計算とコンピュータを除く 数Bの科目中、算法とコンピュータを除く 数Cの科目中、数値計算・統計処理を除く
	12：30～14：30 （120分）	理 科	「物B・物」・「化B・化」・「生B・生」 の3区分中2区分選択
	15：30～16：40 （70分）	外国語	英 ・ リーディング・ライティング

3) 試験場

関西大学・千里山キャンパス第2学舎（経済・商学部）（大阪府吹田市千里山）

4) 学科試験合格者発表

2月21日（木）午後4時、本学構内に掲示するとともに、出願者全員に対して、電子郵便で「学科試験合格者受験番号一覧表」を送付する。

5) 面接試験・小論文及び健康診断

2月23日（土）午前8時20分（学科試験合格者について実施する）

6) 合格者発表

2月25日（月）午後1時、合格者を本学構内に掲示し、本人宛（保護者現住所）にも合格通知書並びに入学に関する手続書類を送付する。

7) 入学検定料 50,000円

8) 納入金

納 期 項 目	初 年 度 納 入 金			2 年 次 以 降 納 入 金（年 額）
	第 1 期（入学手続時）	第 2 期（9月15日）	第 3 期（1月15日）	
入 学 金	1,000,000円			
授 業 料	610,000円	610,000円	600,000円	1,820,000円
実 習 料	120,000円	120,000円	100,000円	340,000円
施 設 拡 充 費	410,000円	410,000円	400,000円	1,220,000円
教 育 充 実 費	5,000,000円			900,000円
合 計	7,140,000円	1,140,000円	1,100,000円	4,280,000円

平成14年度入学試験要項（概要）

入学手続完了者で3月22日（金）正午までに本学所定の書面により入学辞退を申し出た場合、
 入学金以外の納入金を返還する。

（註）

- 1) 入学手続時に、PA会（保護者会）会費（年額100,000円）のうち第1期分50,000円及び学友会
 入会金5,000円、学友会会費（年会費）10,000円をそれぞれ委託徴収する。

）大学院・医学研究科

- 1) 入学願書受付期間
 平成14年1月4日（金）～1月18日（金）（必着）
- 2) 入学試験日時、試験科目及び試験場

月 日（曜）	時 間	試 験 科 目	試 験 場
2月5日（火）	9：30～11：30	外 国 語	本 学
	12：30～13：30	健 康 診 断	
	13：30～16：00	面 接	
2月6日（水）	14：00～16：30	専 攻 科 目	

- 3) 合格発表
 平成14年3月7日（木）午前9時本学内に掲示すると共に本人宛にも通知する。
- 4) 入学検定料 30,000円
- 5) 納付金

項 目 \ 納 期	初 年 度 納 付 金			2 年 次 以 降 納 付 金（年 額）
	第 1 期（入学手続時）	第 2 期	第 3 期	
入 学 金	230,000円			
授 業 料	200,000円	200,000円	200,000円	600,000円
実 習 料	70,000円	70,000円	60,000円	200,000円
合 計	500,000円	270,000円	260,000円	800,000円

平成14年度入学試験要項（概要）

）看護専門学校

推薦入学試験（指定高校制）

学 科	第一看護学科（三年課程）	第二看護学科（二年課程）
募集人員	約 15 名	約 10 名
受験資格	平成14年3月高等学校卒業見込みの者	平成14年3月高等学校衛生看護科 卒業見込みの者
推薦基準	推薦者は1学校1名 1) 成績がA段階またはB段階であること。 2) 心身共健康で将来看護婦となるに適している者であること。 3) 専願で合格後は必ず入学すること。 4) 学校長の推薦があること。 5) 原則として卒業後本学附属病院に就職すること。	
試験日時	平成13年11月15日（木）9：00～16：00	
試験科目	筆記試験 国語（漢文を除く）・小論文試験 面接試験 適性試験 健康診断	
試験場	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号	
合格発表	平成13年11月22日（木） 合否については学校に通知するとともに本人に通知する。	
受験料	20,000円	
受付期間	平成13年11月1日（木）～11月7日（水）消印有効 願書持参は平日9：00～16：30 （土曜、日曜、祝日を除く）	
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円（年間） 実験実習料 50,000円（年間）	

平成14年度入学試験要項（概要）

一般入学試験

学 科	第一看護学科（三年課程）		第二看護学科（二年課程 全日制）	
募集人員	約 25 名		約 30 名	
受験資格	1) 高等学校を卒業した者、および平成14年3月卒業見込みの者 2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む 3) 外国において学校教育を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 5) 文部科学大臣の指定した者 6) 文部科学大臣の行なう大学入試資格検定に合格した者		1) 高等学校衛生看護科卒業および平成14年3月卒業見込みの者 2) 高等学校または中等教育学校を卒業し、准看護婦の資格を有する者 3) 准看護婦の免許を取得してから3年以上看護業務に従事している者	
	1次試験	2次試験	1次試験	2次試験
試験日時	平成14年1月27日（日） 9：00～15：30	平成14年1月29日（火） 7：30～	平成14年1月21日（月） 9：00～12：30	平成14年1月22日（火） 7：30～
試験科目	筆記試験 国語（漢文を除く） 数学（二次関数・ 図形と数量） 数学A（数と式） 生物 B・化学 B のうちいずれか1科目選択 英語 適性検査	面接試験 健康診断	筆記試験 国語（漢文を除く） 数学（二次関数・ 図形と数量） 数学A（数と式） 英語 専門科目（准看護婦 課程において履修 した科目） 適性検査	面接試験 健康診断
試験場	大阪医科大学本部北西キャンパス 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号	大阪医科大学本部北西キャンパス 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成14年1月28日（月） 12：00	平成14年2月4日（月） 12：00 合否については本人宛 に郵送で通知する	平成14年1月22日（火） 7：30	平成14年1月28日（月） 12：00 合否については本人宛 に郵送で通知する
	いずれも大阪医科大学正門の掲示板に発表する			
受験料	20,000円			
受付期間	平成14年1月5日（土）～1月18日（金）消印有効 願書持参は平日9：00～16：30 （土曜、日曜、祝日を除く）		平成13年12月25日（火）～平成14年1月11日（金）消印有効 願書持参は平日9：00～16：30 （土曜、日曜、祝日を除く）	
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円（年間） 実 験 実 習 料 50,000円（年間）			

アムール医科アカデミー副学長表敬訪問 平成13年度 医学会秋季学術講演会 本部北キャンパス臨時駐車・駐輪場の開設について

アムール医科アカデミー副学長本学を表敬訪問

9月10日（月）来日中のロシア共和国アムール医科アカデミーのアナトリ・ロディノフ副学長が、本学を表敬訪問され、島田学長との会談の後、総合研究棟・附属病院・図書館など学内施設を見学されました。



● 平成13年度 医学会秋季学術講演会 ●

平成13年度秋季学術講演会が、北摂四医師会の後援により下記のとおり開催されました。

日 時 平成13年9月26日（水）午後2時30分～5時
場 所 臨床第1講堂



[特別講演]

『医科大学・医学部における心療内科（学）の役割
心身医学の医療モデルの視点より』
関西医科大学 心療内科学 教授 中井 吉英

本部北キャンパス臨時駐車・駐輪場の開設について

病院7号館建設準備工事の開始と共に、旧図書館・医局棟周辺の駐車場及び駐輪場が廃止され利用できなくなるため、その代替場所として本部北キャンパスに臨時の駐車・駐輪場を開設いたしました。

（表紙写真参照）

開設日	平成13年10月1日（月）
規模	6,730m ²
駐車可能台数	120台
駐輪可能台数（自転車）	241台
（単車）	81台

一日検疫官を体験して

4年 松本 裕子

平成13年4月20日から平成13年6月8日まで実施された衛生学・公衆衛生学実習で検疫を選択した学生のうち、下瀬優子、中島裕子、松本裕子の3名で、さる平成13年7月13日にとりおこなわれた検疫行政開始記念式典・祝賀会に一日検疫官として参加しました。

10時頃に通い慣れた大阪検疫所に着くと、そのまま所長室に案内されました。実習で何度もお世話になった検疫所なのですが、所長室に入るのは初めてだったので緊張感のはしりでした。入室して一番に目に飛び込んできた中野所長の白の制服姿はとても印象的で、思わず気持ちが引き締められました。実は一日検疫官とはどんなことをするのかよく分かっていなかったのですが、所長室内で中野所長から人事異動通知書を手渡して頂いて正式に一日検疫官として任命されたとき、きっちり務めを果たそうという心構えが生まれました。

その後、ホテルシーガルで記念式典が始まり、私達は功労者および永年勤続者表彰式のお手伝いをしました。大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教授の河野公一先生、微生物学教授の佐野浩一先生

はじめ検疫に携わる医療、警察、税関、旅行業協会、食品センターなど各界多方面に渡る方々が出席され、式典・祝賀会が行われました。

検疫の研修と今回の式典に通じて参加してみて、国の衛生水準を保つうえで検疫は非常に重要な役割を担っていることと、そのために多種多様な職種の人々が国外から国内への侵入を防ぐ水際検疫のみならず、旅行者など一般の人々へ検疫の知識を普及することなどにも携わっていることを知りました。

航空機・船舶などの交通手段が発達し、容易に世界中を、かつては往来できなかった場所にまで行き来できるようになった現代では、ますます検疫の重要性が高まっていると感じ、私達の意識も高めなければならないと実感しました。

衛生学・公衆衛生学の実習を通して社会医学について学ぶ機会を与えられたことを嬉しく思います。

最後になりましたが、今回の実習で長らく御指導くださった大阪検疫所の方々、ならびに各施設の方々には御礼申し上げます。



平成13年度解剖慰霊祭



平成13年度の解剖慰霊祭が、10月20日（土）午後2時から高槻現代劇場において、ご遺族、さつき会会員（生前献体登録者）及び来賓各位約400名をお迎えし、本学役員、教職員並びに学生、看護専門学校生の参列のもと、おごそかに執り行われました。

同和教育特別講演会



同和教育に関する特別講義が、10月31日（水）午後2時40分から、『新世紀と人権文化の創造』をテーマに上田正昭京都大学名誉教授（世界人権問題研究センター理事長）を講師にお招きし、臨床第1講堂にて開講されました。来聴者は皆熱心に耳を傾けていました。

名誉教授・功労教授懇談会



名誉・功労教授懇談会が、10月26日（金）午前11時30分から、いばらき京都ホテルで開催されました。今年は杉本修名誉教授が幹事を務め、12名の名誉教授、6名の功労教授が出席されました。

看護専門学校戴帽式



看護専門学校第一看護学科学学生36名に対する戴帽式が10月3日（水）午後1時から本学臨床第1講堂において、来賓及び保護者の方々をお迎えし挙行されました。

消防避難訓練・消火実地訓練実施



11月1日(木)午後2時から、高槻市中消防署と病院自衛消防隊の合同で夜間・休日体制における消防避難訓練が行われました。

当日は附属病院55病棟給湯室から出火したことを想定して、仮想患者による避難訓練、消防はしご車による救出訓練、救助袋による降下避難訓練等、火災発生時や緊急時における患者さんの生命と安全を守るための訓練が行われました。

また、避難訓練に先立って10月16日(火)午後1時30分から、消火実地訓練が中央資料館前にて行われました。当日は、消火器の使用訓練と、起震車による地震体験乗車も行われました。参加者は初期消火の重要性を身をもって学ぶとともに、地震など各種災害対策への認識を新たにしていました。

合同災害訓練実施

10月6日(土)午後2時から午後4時30分まで、旧図書館及び旧図書館前において附属病院と高槻市消防本部と大阪府三島救命救急センターの合同で災害訓練が行われました。

訓練は午後2時15分、大阪府北部を震源地とする震度6の強い地震があり、大阪府下で多数の負傷者が出たため、病院長が災害対策本部の設置及び被災者の受け入れを指示したとの想定で、模擬患者40名、高槻消防本部4名を含む約150名の参加による大規模な訓練となりました。

合同災害訓練は、本年6月26日に初めて実施され、今回は2回目となりましたが、前は3名の模擬患者で行われたのに対し、今回は40名の模擬患者で、メイキャップ(メイクキットはアメリカのテレビ番組「ER」で使用しているもの)を施し、中でも見事な患者役をこなした看護専門学校学生の奮起(?)もあり災害訓練らしい内容となりました。



訓練内容 午後2時15分、大阪府北部を震源地とする震度6の強い地震がある。

午後2時30分、高槻市消防本部から負傷者の搬送依頼がある。

適時、模擬患者40名が来院する(一部は救急車で搬送される)。その後、トリアージ、処置、情報収集の訓練を実施する。

合同災害訓練実施にかかる富士原救急医療部教授のコメントは、21頁に掲載

大学祭2001「will」



今年の大学祭は「will」をテーマに10月13日(土)さわらぎキャンパスにおいて開催されました。同キャンパスに設けられた野外特設ステージでは、13日午前10時30分から軽音ライブ Part1 が行われたのを皮切りに、空手演舞、吉本ライブ、ピンゴ大会など多彩なイベントが催されました。また、キャンパス内でも各クラブが、イベントやクラブ出展を行い、日頃は閑静なキャンパスも、この日ばかりは賑わいを見せていました。

第53回 西日本医科学生総合体育大会

第53回西日本医科学生総合体育大会は産業医科大学を総合主幹校として西日本の44大学が参加して、九州地方(北部)を会場に7月29日～8月10日の日程で20種目の競技が行われました。本学の主な成績は以下の通りです。

総合成績 第22位(総合得点 179.5点)
上位成績 第3位 スキー部(女子)
 第5位 スキー部(男子)

さて、全国的な医学教育カリキュラム再編成の中、本学もその例にもれず、現在の5回生からカリキュラムが変わりました。(現在では多くのクラブで3回生が新幹部となっています。)その結果我々学生がクラブ活動に費すことのできる時間は、以前に比べ減少しているのが現状です。

そのあおりをうけてか、今年は去年の6位を大きく下回る結果となってしまいました。

カリキュラムの変化に合わせてクラブのシステムにも改革が問われる時代です。限られた練習時間内で高い到達点を目指すには各クラブともより密度の濃い活動が求められます。

現在、5回生以下の学生は、早くも来年春の近畿大会、夏の西医大に向けてより一層の向上を図るべく練習に励んでおります。今年は44校中22位という平凡な成績ではありましたが、来年はさらなる好成績を目指して、精進していきたく思います。どうか先輩諸氏、教職員の皆様方には温かい御支援御指導を宜しくお願い致します。

最後になりましたが、今年度をもってクラブ活動を引退される6回生の皆様、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。我々の最も身近な先輩として、今後もどうか宜しくお願い致します。

平成13年度 体育会委員長
 大森 信介

卓球 個人準優勝 宮本 裕之選手(6年)

優勝はできませんでしたが自分自身納得する成績が残せて、6年間卓球ばかりしてきたかがあったと思っています。また、このような成績が残せたのは、同級生、先輩、後輩のおかげです。なぜなら卓球は独りでは練習できないし、みんなのアドバイスなしでは試合も勝てないからです。



写真左が本人です

今後は良医になれるよう、しっかり勉強したいと思います。

会 議・行事予定

主要会議とその主な議題

8月1日から10月31日までの主要な会議とその主な議題は次のとおりです。

[理事会]

(9月11日)

- 報告事項 -

1. 施設計画事業本部報告
2. 経営専門委員会報告
3. その他

(9月25日)

- 審議事項 -

1. PA会資金借入について

- 報告事項 -

1. 施設計画事業本部報告
2. 経営専門委員会報告
3. その他

- その他 -

1. さわらぎキャンパス移転について

(10月9日)

- 審議事項 -

1. PA会資金借入について (継続審議)

- 報告事項 -

1. 施設計画事業本部報告
2. 経営専門委員会報告
3. その他

[教授会]

(9月5日)

1. 人事に関する件 (講師の任用他)
2. 学長予定者選考規程改正委員会委員及び学長辞任請求規程改正委員会委員の委嘱に関する件
3. 学長予定者選挙管理委員会委員の委嘱に関する件
4. その他
 - 1) 遺伝カウンセリング室長の委嘱について
 - 2) 附属病院病理部講師候補者の公募について
 - 3) 附属病院栄養指導医の変更について
 - 4) 教育研究・設備・装置補助費調整機構委員長及び委員の委嘱について
 - 5) BULLETIN編集委員会委員長及び委員の委嘱について

(9月19日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)
2. 第3・4学年前期進級合否判定に関する件

3. 学則の一部変更に関する件

4. 教授選考に関する件

5. その他

- 1) 教員の定年制引下げ問題について
- 2) 教員の任期制と教員の業績評価に係る問題について
- 3) 診療科教授 (仮称) について
- 4) 大阪医科大学公式ホームページ (案) について
- 5) 学長予定者選挙管理委員会委員の変更について
- 6) OSCE実行委員会委員の変更について
- 7) 内科カリキュラム作成委員会委員の変更について
- 8) 機器共同利用センター廃棄機器の決定について

(10月3日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)

2. 教授選考に関する件

3. その他

- 1) 現在、不補充になっている教授選考について
- 2) 大阪医科大学遺伝カウンセリング室副室長の委嘱について
- 3) 機器共同利用センター廃棄機器の決定について

(10月17日)

1. 人事に関する件 (助教授の任用他)

2. 麻酔科学講座担当教授選考委員会委員の委嘱に関する件

3. その他

- 1) 教員の任期制委員会について
- 2) 教員の業績評価 (教育・研究・診療) について
- 3) 学校法人大阪医科大学ホームページ公開指針について
- 4) 図書館長選出及び図書館運営委員会委員の変更について
- 5) 新入生学外合宿企画実行委員会委員の委嘱について
- 6) 附属病院血液浄化センター長 (助教授待遇) 候補者の推薦について
- 7) 臨床系医師の職制について

[大学院医学研究科委員会]

(9月5日)

1. 大学院編成に関する大学院小委員会提案

(9月19日)

1. 大学院編成に関する大学院小委員会提案に関する件

2. その他

- 1) 研究生の願出に関する件
- 2) バイオセーフティー実験室管理責任者の変更について
- 3) ハイテク・リサーチ・センター運営委員会委員の変更について

(10月3日)

- 1. 大学院編成に関する大学院小委員会提案に関する件

2. その他

(10月17日)

- 1. 大学院改変に伴う系の再編と再編に伴う学則改正並びに平成14年度大学院医学研究科(博士課程)学生募集要項(案)承認に関する件
- 2. 学位論文受理に関する件
- 3. その他

主な行事日程表

11月1日から平成14年1月31日までの学内における主要な行事予定は次のとおりです。

- 11月7日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 13日(火) 理事会
- 15日(木) 看護専門学校推薦入学試験
(第一看護学科・第二看護学科)
関連病院長会議
- 21日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 27日(火) 理事会
- 12月1日(土) 実験動物慰霊祭
- 5日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 10日(月) 学位論文提出のための語学試験
第6学年後期試験 (14日まで)
- 18日(火) 理事会
- 19日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 21日(金) 看護専門学校冬期休業(1月7日まで)
- 22日(土) 医学部学生冬期休業
- 25日(火) 看護専門学校入学願書受付開始
(第二看護学科:1月11日まで)
- 27日(火) 理事会
- 1月4日(金) 年賀交歓会
大学院医学研究科入学願書受付開始(18日まで)
医学部入学願書受付開始
(2月1日まで)
- 5日(土) 看護専門学校入学願書受付開始
(第一看護学科:1月18日まで)
- 7日(月) 第1・2・3・4学年授業再開
第5学年臨床実習開始
- 9日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 11日(金) 学位論文受付締切
- 15日(火) 理事会
- 21日(月) 看護専門学校第二看護学科入学試験
(22日まで)
- 23日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
- 27日(日) 看護専門学校第一看護学科入学試験
(29日まで)

附属病院関係

平成14年度臨床研修医募集要項（医科）

平成14年度本学附属病院の臨床研修医募集要項（医科）が下記のとおり決定いたしました。

募集要項

1. 募集人員 全科で100名以内とする
2. 研修科目
第一内科 第二内科
第三内科 精神神経科
一般・消化器外科 胸部外科
脳神経外科 整形外科
小児科 産婦人科
眼 科 耳鼻咽喉科
皮膚科 泌尿器科
放射線科 麻酔科
形成外科 リハビリテーション科
中央検査部学 救急医療部
3. 処遇
臨床研修手当 125,000円
宿日直手当 別途支給
社会保険・労働災害保険 適用
4. 応募資格
平成14年実施の医師国家試験合格見込の者および医師免許証を有する者
5. 出願期間
平成13年11月15日(木)から
平成13年12月28日(金)まで

平成14年度臨床研修医募集要項（歯科）

平成14年度本学附属病院の臨床研修医募集要項（歯科）が下記のとおり決定いたしました。

募集要項

1. 募集人員 10名以内(全科で100名以内とする)
2. 研修科目
歯科口腔外科
3. 処遇
臨床研修手当 125,000円
宿日直手当 別途支給
社会保険・労働災害保険 適用
4. 応募資格
平成14年実施の歯科医師国家試験合格見込の者および歯科医師免許証を有する者
5. 出願期間
平成13年11月15日(木)から
平成13年12月28日(金)まで

6. 提出書類
(1) 臨床研修医願書
(2) 履歴書 [本院所定様式、上半身の写真を貼付のこと]
(3) 住民登録票
(4) 卒業（見込）証明書
(5) 学長または学部長の推薦書 [医師国家試験合格見込の者のみ]
(6) 健康診断書 [本院所定様式]
(7) 医師免許証 [医師免許証を有する者のみ]
7. 研修方法
原則として総合診療方式（スーパーローテイト方式）を採用する予定
また、内科については各講座間のローテイトも可能である
8. 選考方法
各科個別におこなう
詳細は、各科より出願者に通知する
9. 臨床研修許可発表
郵送をもって通知する
10. 臨床研修期間
平成14年5月1日から2年間 [研修開始前に全科合同のオリエンテーションを行う予定]
11. その他
各科研修プログラムは別に定める

6. 提出書類
(1) 臨床研修医願書
(2) 履歴書 [本院所定様式、上半身の写真を貼付のこと]
(3) 住民登録票
(4) 卒業（見込）証明書
(5) 学長または学部長の推薦書 [歯科医師国家試験合格見込の者のみ]
(6) 健康診断書 [本院所定様式]
(7) 歯科医師免許証 [歯科医師免許証を有する者のみ]
7. 研修方法 ストレート方式
8. 選考方法
詳細は、歯科口腔外科より出願者に通知する
9. 臨床研修許可発表 郵送をもって通知する
10. 臨床研修期間
平成14年5月1日から1年間 [研修開始前にオリエンテーションを行う予定]
11. その他 研修プログラムは別に定める

平成13年度上半期附属病院患者動態
本年度上半期の患者動態は下記のとおりです。

(平成13年4月～平成13年9月)

	入院患者数	外来患者数	対前年度増減率%	
			入院患者数	外来患者数
H13.4	(865.0) 25,951	(2,843.0) 62,547	5.11	3.25
H13.5	(834.5) 25,869	(2,984.4) 65,656	3.22	3.18
H13.6	(899.0) 26,970	(2,810.7) 64,646	5.52	0.89
H13.7	(891.2) 27,628	(2,877.8) 66,189	4.22	0.36
H13.8	(859.4) 26,640	(2,709.0) 67,724	5.23	2.25
H13.9	(861.3) 25,838	(2,909.2) 61,093	3.51	3.72
合計	(868.3) 158,896	(2,851.9) 387,855	4.47	0.72

()内は、1日平均患者数 *平成13年度上半期入院関係稼働日数 183日(平成12年度も同じ)
平成13年度上半期外来関係稼働日数 136日(平成12年度は138日)

合同災害訓練を終えて

合同災害訓練は皆様のおかげを持ちまして成功裏に終了いたしました。心から感謝申し上げます。

大阪医科大学附属病院は大阪府三島救命救急センターと共に、平成9年3月より災害拠点病院に指定されております。今回は、現場でトリアージ(患者の治療の緊急度による振り分け)された患者を院内に収容する訓練をしました。今回はその一環として、病院職員等が災害医療のトリアージと応急手当を、実際に行っていただくことを目的の一つとして訓練を行いました。各科の先生方や病棟・外来の看護婦のみなさん、医学部5年生の学生さんたちの飛び入りも含め約150名が協力してトリアージや処置を行い、実践しながらの訓練を実施することができました。参加していただいた方々は、真剣に取り組んでいただき、大変印象に残り、また勉強になる訓練でした。また、看護専門学校学生や1、2年生の学生諸君には、患者役として大活躍をしていただきました。今後実際の現場に遭遇したときには、この経験が生きてくるであろうと期待します。さらに、事務、警備、施設関係の皆様も準備段階から積極的に参加いただき、裏方として大活躍していただきました。

はじめての経験に、現場では、騒ぎ立てる軽症患者を中等症と判断するなどかなりの混乱がみられました。これらの結果を総括し次につなげるようにしたいと思います。

災害現場に遭遇した場合には、なかなか思い通りの行動がとりにくいものですが、多発テロや地震などの危険がささやかれている今日、今後もこのような訓練を実施し、今後の災害に備えて行きたいと思っております。

救急医療部
教授 富士原 彰

合同災害訓練の様子は、16頁に掲載

大阪医科大学俳句会（六／七／八月）

屋根方はただのぞき見る辻廻し

塚本務人

睡蓮の池に中心なかりけり

今井雄介

決意ほど食べられぬもの苺狩

古川洋子

蠅叩き明治大正昭和かな

中川一成

打水や太陽もまた汗をかき

大槻哲彦

鍵なべてゆるびし家や油照り

奥田筆子

雨音はアルゼンチンタンゴ戻り梅雨

吉田孝江

朝刊は昨日の知らせ朝芙蓉

飯塚久子

空蝉を祈る姿とみて触れず

美濃 眞

掌の中の螻蛄の力を野に返す

宮田恵江

黄と赤のまだらの旗やコレラ船

山崎隆司

時の日や形見の品のねぢを巻く

（投稿）宮脇芳美



——投句のお誘い——

一般の方も投句（何句でも）して下されば、
当句会で会員の出句と同じように選句します。
入選句は当欄に掲載します。

宛先は

〒569-0084 高槻市沢良木町 2-41
大阪医科大学さわらぎキャンパス

俳句会

皆様の参加をお待ちしております。



菊川英山（1787～1867）作

菊の図柄が秋の深まりを感じさせる頃となりました。

英山は穏やかな美人画を得意とした浮世絵師で、これは柱絵と呼ばれ、そのとおり柱に飾って愉しまれたものです。

「山姥と金太郎」の姿が細長く上下に配置され、親子の情が流れるような構図の中に表現されています。

この絵は、『開運！なんでも鑑定団』に出演予定でありましたが、残念ながら局の都合でその機会を得ることができませんでした。価値を知りたいという欲を出したことを、いささか反省しながら、180年前の絵師の心を感じております。

大阪医科大学学報 第50号

発行年月 平成13年11月

発行 学校法人 大阪医科大学

編集・発行 総務部

印刷 大日本印刷株式会社

大阪医科大学ホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp>